

サイレントサポート実践中

～口頭指示しない職業技能～

川西高等特別支援学校 大矢 仁



本実践のねらい

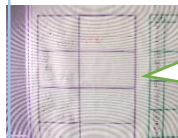
自立できる力をつけて欲しい。

そのために

生徒が自分で確認して、作業を始められる力を付ける。



自分で確認する習慣



①実際の福祉事業所のように仕事内容を表示する



②自分で確認する



作業準備前



③仕事内容ごとに道具をまとめておく。



④必要な道具は自分で判断して取れるように表示する。



自分で用意し、片付ける



⑤終わったら自分で元の場所に戻す。



作業に集中する



⑥大きな声をあげる生徒には、このカードを提示する。



成果と課題

- ・生徒が自分から仕事内容を確認する習慣が身に付いた。
- ・自分で道具を準備し、作業を始められるようになった。



- ・作業への意欲が低い生徒には、どうしても口頭での指導（注意）になってしまった。